

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年4月9日
 独立行政法人福祉医療機構
 経営サポートセンター長 佐藤 肇
 経営サポートセンター
 リサーチグループリーダー 松本 庄平
 担当 深澤・内記 (電話) 03-3438-9932
 (FAX) 03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査（2021年3月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は2021年3月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人 562 法人
- 調査事項：社会福祉法人および特別養護老人ホームの業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、新型コロナウイルス感染症の影響
- 回答数：451
- 有効回答数：451
- 有効回答率：80.2%
- 実施期間：2021年2月26日（金）～2021年3月24日（水）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【社会福祉法人の動向】

- 業況判断のDIは、前回調査とほぼ同水準の、 $\Delta 1$ となった。
- サービス活動収益のDIは、前回調査から7%ポイント低下し、 $\Delta 18$ となった。
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査から8%ポイント低下し、 $\Delta 22$ となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から4%ポイント低下し、9となった。
- 資金繰りのDIは、前回調査から1%ポイント低下し、 $\Delta 7$ となった。
- 従業員数のDIは、前回調査とほぼ同水準の、 $\Delta 61$ となった。

【特別養護老人ホームの動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査から5%ポイント低下し、 $\Delta 13$ となった。
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査から7%ポイント低下し、 $\Delta 17$ となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から5%ポイント低下し、10となった。
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査から1%ポイント低下し、 $\Delta 55$ となった。
- 介護職員の確保のDIは、前回調査から2%ポイント上昇し、 $\Delta 78$ となった。
- 人件費のDIは、前回調査から6%ポイント上昇し、45となった。
- 稼働率のDIは、前回調査から6%ポイント低下し、 $\Delta 17$ となった。
- 他施設との競合のDIは、前回調査から2%ポイント低下し、 $\Delta 33$ となった。
- 待機者のDIは、前回調査から4%ポイント低下し、 $\Delta 24$ となった。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

- 収益の減少は4月以降徐々に回復し、前年同月比で減収している施設は20%程度で推移。1月実績では、減収施設がやや増加し、2月見込では3割強が減収の見込みとなった。
- 2020年度のサービス活動収益（前年比）は、特養で59.5%、特養を運営する社会福祉法人全体では46.5%が「横ばい」の見込みとなった。
- 「減収」となる施設・法人の割合は、特養で23.3%、法人で34.8%が該当する見込みとなった。

以上